

モビリティのリデザインによる 持続可能で賑わいのあるマチの再生

(株)ドーコン 交通事業本部交通部 都心交通企画室



マチのモビリティをリデザインする

地球温暖化問題や少子高齢化に伴い、「環境負荷の少ないまちづくり」や「人が歩いて楽しいまちづくり」が求められています。ドーコン都心交通企画室は、多種多様な人が集まり、賑わいのあるマチを取り戻すために、マチなかにおけるモビリティの主役を自動車から歩行者の速度に近いモビリティにリデザインすることを提案します。



モビリティのリデザイン実現に向けて

路線毎の道路機能をリデザイン

- ▶ 自社開発した“プローブパーソン調査システム”（裏面参照）を使い、ヒトの動きを精密に調査・分析し、客観的データによる道路機能の再配置を提案します。

道路空間のリデザイン

- ▶ 既存道路空間を活用した道路空間再配分によって、「歩行者自転車にとって安全で快適な道路空間」や「マチの賑わいを創出する道路空間」を提案します。
また、新たな道路空間の導入にあたっては社会実験等で効果を検証し、地域と連携を図りながら地域特性に配慮した道路空間リデザインを提案します。

マチなか移動のリデザイン

- ▶ サイクルシェアリング事業者（特定非営利活動法人 ポロクル）との連携による、自転車を活用したまちづくりの提案も可能です。

持続可能で賑わいのあるマチの再生に向けて

地域との協働による「みちづかい」のリデザイン

- ▶ 都市再生推進法人等の地域が主体となった路上イベントやオープンカフェ事業など道路空間を活用した賑わいづくりの企画・運営支援を行います。

プローブパーソン調査システムのご紹介

プローブパーソン調査システムって何？

- ・プローブパーソン調査とは、**GPS付携帯電話**を使い個人の行動を記録する調査です。
- ・GPSによる**移動位置や時刻**、行動目的・交通手段・利用施設などの**交通情報**と位置情報付の**写真・コメント**などを記録し、行動を精密に調査する新しい手法です。



路線の機能分担を面的に分析

